

湖北



刊行された「ながはまのお庭 総集編」

長浜市内に残る優れた庭を
紹介する本「ながはまのお庭
総集編」が刊行された。愛
好家団体「ながはまのお庭プ
ロジェクト」（山崎弘子代表

がクラウドファンディングを活用し、出版した。

市内には小堀遠州や辻宗範ら名だたる作家が作った庭が数多く残り、同プロジェクト

調査してきた
今回はこれま
でシリーズで
5冊作ったも
のを総集編と
して1冊にま
とめた。

国指定名勝の慶雲館庭園（木之（港町）や浄信寺庭園（木之本町）などに加えて、古木の枝ぶりが豪快な平庭（吉田豊邸）や武家の豪傑さを伝える力強い庭（池憲明邸）など個人宅も掲載している。

全約100邸の庭の紹介に加え、識者による対談や座談会なども収録。サンライズ出版。A5判。144ページ。2200円。

【長浜通信部・長谷川隆広】

新幹線の魅力たっぷり！
模型や絵本、資料を展示



線 幹 新 子 親 見 て 見 本 示 展
れ 連 子 親 見 て 見 本 示 展

鉄道開業150周年記念
「みんなの新幹線展」が長浜
市北船町の長浜鉄道スクエア
で開かれている。10月10日ま
で。

迎えるなど延伸を続けている。同展では、新幹線関連の貴重な資料や幼児向けの絵本など約30点を展示。0系新幹線ひかりや北陸新幹線かがやきなどの模型6点も並べ、改めて新幹線の魅力を伝えている。子どもが楽しめるように新幹線の時速や料金、線路を点検する列車などを問うクイズもある。

彦根市から家族3人で訪れた中島豪志さん(35)は「2歳の長男が車や電車好きなので見にきました。特に『新幹線のぞみ』を気に入っています」と話し、熱心に展示を眺めていた。

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖 東

優しさを発信するロゴ

作業療法士のチーム考案

彦根市在住の作業療法士、田中孝史さん(42)ら介護福祉関係者で作る「チームエンパワーメント」が地域共生の街づくりを目指すロゴマークを発表した。「U」を図案化し、片目を閉じ笑っているようなイメージにした。

「I WILL HELP U」という英文バージョンもあり、U=YOU(あなた)が笑顔になってほしい——との思いを込めた。2022年度県地域共生型社会推進事業

の助成金も取得。ロゴ入りのキーホルダーやリストバンド（各550円）などを作成しホームページ（<https://www.epmt.jp>）上で販売している。

田中さんは「このロゴがあれば、街中で困っている人を手助けしやすくなるのでは。優しさを見える化し、安心して暮らせる街、観光しやすい街づくりにつなげていきたい」と意欲を見せている。

【彦根通信部・伊藤信司】

ロゴをあしらった商品=チームエンパワーメントのインスタグラムより

直弼の茶道精神を伝える本 継承者 2 人が共同で執筆

幕末の彦根藩主・井伊直弼（1815〜60年）と茶道の関わりを紹介するカラー書籍（A5判64ページ、税別1400円）が出版された。タイトルは「埋木舎（うもれぎのや）で培われた井伊直弼の茶の湯」。埋木舎は彦根城中堀に面した直弼の旧居で、この建築物を先祖から引き継ぐ大久保治男さん（88）と直弼の茶道後継者、前田滴水さん（75）が共同で執筆した。

直弼は青年期を埋木舎で暮らし、文武両道の稽古（けいこ）に励んだ。中でも茶道は石州流を学び、多くの弟



豊富な写真で直弼の旧宅などを紹介している

子に一期一会の精神を伝えた。今回の書籍は、直弼茶道の真髄▽埋木舎各室の案内▽直弼の茶室「澍露軒」▽「埋木舎」と「大久保家」——などの項目に分かれている。直弼にちなんで最近成立した「彦根市茶の湯条例」などを解説する

ある。問
いわけは
サンライ
ズ出版
(074
9・22・
0627)
【彦根通
信部・伊
藤信司】